

4. 研究活動

① 共同利用・共同研究の実施件数（進行中のものも含む）

共同利用・共同研究数（単位：件）	21
うち国際的な共同利用・共同研究数	5
うち共同利用・共同研究拠点としての実施件数	5
うち国内での共同利用・共同研究数	16
うち共同利用・共同研究拠点としての実施件数	16

② 共同研究課題採択一覧

研究代表者	研 究 課 題 名（21 件）	センター内 共同研究者
小柴 琢己	トキソプラズマ分泌性タンパク質と宿主ミトコンドリアの親和性解析	西川 義文
兼子 裕規	トキソプラズマ感染における頭頸部感覚器フェロトシスの研究	西川 義文
藤田 秋一	トキソプラズマにおけるオートファゴソームの微細構造と構成膜脂質のナノスケールレベルでの分布解析	玄 学南
Kishor Pandey	Molecular characterization and genetic diversity of tick-borne diseases in Nepal	麻田 正仁
鈴木 丈詞	カブリダニの卵形性の分子機構解明と人口飼料開発への応用	白藤 梨可
筏井 宏実	マラリア原虫オーシスト形成・分化に関する分子機構の解明：壁構成蛋白質の探索から	福本 晋也
中尾 洋一	抗トリパノソーマ活性を持つ海洋生物由来リード化合物の探索と作用機序解析	菅沼 啓輔
正谷 達膳	トキソプラズマの保有する2つのアクアポリン分子が関与する病原性発現機構	玄 学南
田仲 哲也	組換えアクアポリンを用いた抗マダニワクチンの構築	白藤 梨可
中尾 亮	高増殖型マダニ細胞の作出	白藤 梨可
吉川 泰永	マラリア原虫のスプロゾイト形成における Brca2 の機能	福本 晋也
長谷 耕二	妊娠期のトキソプラズマ感染防御における $\gamma\delta$ T細胞の役割の解析	西川 義文

二瓶 浩一	抗原虫作用を示す微化研由来天然化合物における分子標的の解析	西川 義文
彦坂 健児	北海道における海獣由来トキソプラズマの単離培養法の確立と全ゲノム解析	福本 晋也
荒木 球沙	ヒストン修飾酵素阻害剤によるマラリア原虫増殖阻害とその分子基盤の解明	河津信一郎
石崎 隆弘	ウシバベシア原虫赤内期必須遺伝子の同定に向けた次世代型 CRISPR スクリーニング基盤の構築	麻田 正仁
村田 敏拓	漢方薬構成生薬－特に黄芩・黄耆のフラボノイド類－の原虫病への応用を志向した構造活性相関研究	菅沼 啓輔
Sanjay Kumar	Genetic diversity of <i>Theileria equi</i> infecting equines in India and quantification of parasite loads	横山 直明
Consuelo Almazán	Detection and surveillance of <i>Haemaphysalis longicornis</i> (Neuman, 1901) in Mexico	白藤 梨可
Elisha Chatanga	Molecular detection and genetic characterization of <i>Babesia caballi</i> and <i>Theileria equi</i> in horses and donkeys in Malawi	横山 直明
Daniel Sojka	Establishment of DiCre parasite lineages to study essential aspartyl peptidases of <i>Babesia</i>	麻田 正仁

③共同利用・共同研究の参加状況

区 分	令和 5 年度（単位：人）								
	機関数	受入人数				延べ人数			
			外国人	若手研究者(35 歳以下)	大学院生		外国人	若手研究者(35 歳以下)	大学院生
学 内 (法人内)	7	62 (32)	35 (16)	45 (26)	18 (12)	971 (493)	520 (291)	723 (376)	360 (228)
国立大学	10	32 (6)	2 (2)	7 (5)	2 (2)	83 (21)	9 (9)	44 (15)	5 (5)
公立大学	1	5 (2)	0 (0)	3 (2)	1 (1)	9 (4)	0 (0)	6 (4)	2 (2)
私立大学	7	9 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	15 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)
大学共同利 用機関法人	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
独立行政法 人等公的研究機関	12	24 (12)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	43 (20)	0 (0)	6 (6)	0 (0)
民間機関	11	20 (4)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	32 (6)	0 (0)	2 (2)	0 (0)
外国機関	26	44 (20)	41 (18)	6 (4)	1 (1)	649 (296)	627 (283)	377 (224)	39 (39)
その他	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	74	196 (76)	78 (36)	69 (42)	22 (16)	1802 (840)	1156 (583)	1162 (627)	406 (274)

※下段には女性研究者数（内数）

④学会誌、学術雑誌、国際会議等に掲載された論文数

区 分	令和 5 年度
論 文 数	68
うち国際学術誌に 掲載された論文数	68

⑤出版物の発行部数

出 版 物 の 名 称	発 行 部 数
The Journal of Protozoology Research	ホームページに掲載

⑥受賞状況

受賞者氏名	賞 名	受賞年月	受賞対象となった研究課題名等
汲 生威	第 14 回日本獣医寄生虫学奨励賞	R5 年 9 月	Efficacy of the antimalarial MMV390048 against <i>Babesia</i> infection reveals phosphatidylinositol 4-kinase as a druggable target for babesiosis
GALON Eloiza May Saldua	第 14 回日本獣医寄生虫学奨励賞	R5 年 9 月	Characterization of bovine piroplasma populations in the Philippines using targeted amplicon sequencing (Ampliseq)
末永 羅綺	第 69 回 日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会 若手奨励賞	R5 年 10 月	<i>Entamoeba invadens</i> の感染はウミガメ飼育におけるリスク要因となる
水野 寛太	第 69 回 日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会長賞	R5 年 10 月	フタトゲチマダニにおける Immune Deficiency (IMD) 経路構成分子の探索と <i>Babesia ovata</i> に対する免疫機能について
井上 昇	モンゴル国卓越研究者賞受賞	R5 年 11 月	「卓越研究者賞」は 50 年以上の歴史を有し、毎年モンゴル国の科学の発展と向上に貢献した研究者に贈られるもので、井上が 1015 人目の受賞者となった

⑦研究者を対象とした研究会、シンポジウム等の実施状況

シンポジウム 講演会		セミナー・研究会 ワークショップ		そ の 他		合 計	
件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
2	73	10	180	0	0	12	253